

生き抜くために

篠山中学校 1年 わらびおか あんり 藤岡 杏俐

大災害にもかかわらず全員が無傷でいたという奇跡的な結果となったのは、一人一人の生き抜く力と気持ちが強かったからだと思います。

災害が起きた時の状況を把握したり観察したりすることは、とても大事なことです。私が住んでいるところは山に囲まれています。大雨が降ると、土砂災害が起こる可能性があります。私の家の上の道には大きい石が転がっていて危険です。おそらく危険な場所は、ほかにもあります。今のうちに確認しておくと思いました。先日、土砂災害防止作文の発表があり、先輩が、「土砂災害が起きるときはめきめきと音がするというけれど、聞いたことがない音が分かるのか」と言っていました。私もその音を聞いたことがないので、すぐ気が付きたいし、気が付いた時、みんなで逃げて全員で助かりたいです。

私たちは災害から身を守るために二つのことをしています。

一つは避難訓練です。訓練の後、命を守る行動ができたかどうか、何に気を付けて避難したか話し合います。小学生の時は、何をするか分からず流されるままに行動したり笑いながら避難したりして、真剣にできていませんでした。しかし、今は命の重さが分かり訓練に参加しています。

二つ目は防災ポーチを作ったことです。家で、持ち出し袋を準備しておらず、けっこうまずい状況だったので、作れてとてもうれしかったです。自分で中身を決めて持っていくものを確認しました。災害が起こったら、人を頼れるとは限らないので、生き抜くために自分にできることを考えています。

災害は逃れることができません。私は自分の身は自分で守れるようになりたいし、ほかの人の命も守りたいです。